

兵庫県
保険医協会

西宮 支部ニュース
芦屋

No. 342

2018・5・25

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会
電話〇七八(三九三) 一八〇三

2018年度診療報酬改定研究会

改定点数を分かりやすく解説

会場いっぱい210人が参加

協会は3月22日に西宮市民会館で2018年度診療報酬改定研究会(西宮会場)を開催。岩下敬正先生(西宮市・岩下内科クリニック)、川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)、中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)が講師、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)が司会を務め、医師・スタッフら210人が参加した。

研究会では今次改定で新設された初診料の機能強化加算・妊婦加算、複雑さを増した在宅医療点数や、インフルエンザウイルス抗原定性など汎用点数が引き下げとなった検査等について、保団連発行の『点数表改定のポイント2018年版』をテキスト



左から講師の中島、岩下、川崎各先生と、司会の林田先生



前回改定を大きく上回る210人が参加し、会場は満席となった

に、3人の講師が分かりやすく解説。研究会終了後には参加者から多数の質問も寄せられた。

また司会の林田先生が呼びかけた「診療報酬改善と大幅引き上げを求める要請書」には72筆が寄せられたほか、研究会の最後には参加者一同で、診療報酬の大幅引き上げと患者窓口負担の引き下げを求める決議を採択した。

改定に関する情報は協会ウェブサイトの特設ページに随時掲載しているのでご活用いただきたい。

診療報酬改定情勢勉強会

厚労省が目指す方向性明らかに

西宮・芦屋支部は3月3日、兵庫県農学会館で、「2018年診療報酬改定の動向―無床診療所の医師が押さえておくべきポイント解説―」をテーマに診療報酬改定情勢勉強会を開催。日経ヘルスケア編集部の二羽はるな氏が講師、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)が司会を務め、医師・スタッフら71人が参加した。

二羽氏は独自のスライド資料に基づき、2018年度診療報酬改定で厚労省が目指そうとしている方向性について、特に無床診療所の医師に関連があるものに絞って解説。①大病院の一般外来を縮小するとともに、厚労省が言う「かかりつけ医機能」を

有する診療所を評価する点数となっていること、②在宅についてはこれまで在宅を手がけていない医療機関の参入を促すため、強化型でない在宅療養支援診療所の評価を拡充していること、③投薬についてはさらなる後発医薬品の推進と、向精神薬の「適正化」をいっそう進めるものであることなどに分りやすく説明した。

参加者からは「厚労省が考えている方向性がなんとなく見えたのがよかった」、「スライドがとて分りやすかった」、「診療所の今後のあり方を考えていくうえで非常に参考になった」などの声が寄せられた。

世話人会だより

西宮・芦屋支部は4月27日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。4人が参加した。

【報告】

- ① プライマリケア研究会(1・20)
- ② 保険請求事務講習会(2・3・4)
- ③ 診療報酬改定情勢勉強会(3・3)
- ④ 第9回被災地物産・物産展(3・31)
- ⑤ 支部お花見会(4・7) ※天候不順のため中止
- ⑥ 健康と医療について語り合う会(4・13)

【予定・企画】

- ① 第35回漢方研究会(5・26)
- ② 病診連携勉強会(6・2)
- ③ 介護報酬改定情勢勉強会(6・9)
- ④ 院内感染対策研修会 BRPコース第4回(6・16)
- ⑤ 第10回被災地物産・物産展(7・7)
- ⑥ 第38回支部総会記念市民公開講演会(7・28)

【予定・企画(日時未確定)】

- ① リスクマネジメント研究会
- ② 第18回胸部X・P読影会
- ③ Medical English#52

- 【協会・保団連行事】
- ① 第93回評議員会(5・27)

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。



講師の二羽氏(左)と、情勢報告する司会の林田先生(右)

プライマリケア研究会 (感想文) 期外収縮、心房細動などの知識整理できた

西宮・芦屋支部は1月20日に西宮市・上ヶ原病院でプライマリケア研究会を開催。 「頻脈性不整脈の考え方と最近の治療法」をテーマに、上ヶ原病院循環器内科、岡山市民病院教育・学術顧問の大江透先生が講師を務め、医師・薬剤師ら24人が参加した。 司会を務めた伊賀幹二先生(西宮市・伊賀内科・循環器科)の感想文を掲載する。

講演場所である上ヶ原病院の玄関で、「面会のかたはマスクをしてください」との張り紙があり、入口に1枚200円のマスクの自動販売機がありました。すばらしいことで、応急診療所などでもやってほしいと思います。

さて、プライマリケア研究会として、不整脈の御所 大江透先生に、期外収縮の診断、心房細動の治療の歴史、ブルガダ症候群について講演いただき、私が司会をさせていただきました。



心房細動の解説をする大江先生

期外収縮については、心電図の自動判定ではなく、なぜ期外収縮なのか、なぜ心房性、心室性かという話でした。心機能に問題がない心室性期外収縮は放置でよいという話を、期外収縮の形から強調されました。心エコー、ホルターのある当方では、左室機能は問題がないか、期外収縮の連発はないかなど調べていたが、これらの期外収縮が右室流出路を起源していたか、focusingしてみようと思いました。

心房細動に対するablationの歴史について、心房細動を停止させるのに、手術で心房を切っていた時代から、高周波で心房をカテーターで電氣的に切っていた時代、肺静脈を電氣的に隔離するようにかわったこと、とくに日本人が発明したバルーンカテーターなどを紹介されました。

最後に、先生の得意のブルガダ症候群について、診断基準を明確にし、議論されました。対象が、内科以外の方と一般医とであるので簡単すぎるのではと私は出席について迷っていましたが、自分の知識を整理できて参加してよかったと思いました。保険医協会の西宮市のメンバーは、憲法や沖繩の議論ではなく、このような実践的なものを期待しています。

【西宮市・伊賀内科・循環器科 伊賀幹二】

第9回被災地物産 | 物品展 家族連れも参加し被災地支援・地域交流

西宮・芦屋支部は3月31日、広川内科クリニックで第9回被災地物産・物品展を開催。地域住民や支部役員などが参加・交流した。

物産・物品展は東日本大震災の被災地支援と地域交流を目的に定期的に開催しており、わかめ・昆布などの物産品を販売する岩手県宮古市「かけあしの会」、手縫いのバッグなどを販売する岩手県藤沢市「ちく

ちく工房」、福島県の伝統工芸品・会津木綿を使った小物雑貨を販売する「三春彩花」などが参加し、今回で9回目となる。

当日は蒸し牡蠣、つぶ貝の串焼きの実演販売も行われ、家族連れなども参加して会場は賑やかな雰囲気になりました。 次回は7月7日開催予定(会場をご提供いただける医療機関を募集しています)。



道行く人も参加し、賑やかに行われた物産・物品展



福島の会津木綿を使った小物雑貨も販売された

病診連携勉強会 「非結核性抗酸菌症の症例検討」

日時 6月2日(土) 午後3時～
講師 西宮市・谷向病院院長 谷向茂厚 先生
会場 谷向病院 会議室
(阪急・阪神今津駅から南東へ徒歩5分)

介護報酬改定情勢勉強会 「介護報酬改定で介護の現場はどうなった? どうなる?」

日時 6月9日(土) 午後3時～
講師 深津居宅介護支援事業所 吉田晃氏
西宮市高齢者あんしん窓口 松下裕之氏
会場 西宮市立勤労青少年ホーム
(JR西宮駅から南へ徒歩7分、阪神西宮駅から東へ徒歩7分)

院内感染対策研修会 BBPコース第4回 「血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法」

日時 6月16日(土) 午後3時～
講師 アメリカ心臓協会インストラクター 登山寿子氏
会場 あしだこども診療所
(阪急門戸厄神駅から北西へ徒歩2分)